

令和元年度 第2回 吹田市政策会議概要

日 時：令和元年7月31日（水）午後4時40分～午後5時10分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、稲田行政経営部長、
橋本学校教育部長、木戸地域教育部長

所 管：【都市魅力部（地域経済振興室）】井田部長、奥山次長、大音参事、萩原主幹、
西村主査

案 件	吹田市勤労者福祉共済条例及び条例施行規則の改正について
担当及び関連部局	都市魅力部（地域経済振興室）
【案件概要】 吹田市勤労者福祉共済制度（以下「福祉共済」という。）において、現在加入対象外である多様な雇用形態の従業員が利用できる制度とすることで、更なる福祉の増進及び市内事業所の振興を図るとともに制度の安定化に資するよう、条例及び条例施行規則を改正するもの。	
【所管部の考え方】 近年、労働者の雇用形態の多様化が進んでいることや福祉共済を利用する被共済者が減少していることを踏まえ、現在対象外である従業員を対象とすることができるよう加入要件を緩和することで、福祉の増進及び市内事業所の振興を図る目的を達成するとともに、制度の安定化に資すると考える。	
質問： 民間にある制度と同じようなサービス内容なのか。 回答： 民間と同じようなサービス内容であるが、掛金がかなり安い。	
質問： 加入者からの福祉共済に対する評価はどうか。 回答： 福利厚生制度において、地域に密着した使いやすいサービスメニューで、加入者からは好評を得ている。	
意見： 市内事業所の民間を含む共済制度の利用状況等を確認することにより、昭和49年当初の設立目的が現在のニーズに合っているか等、時代に応じた制度の在り方について、随時検討していく必要がある。	
【結果】 本件は承認された。会議で出た意見を踏まえ、取組を進めること。	